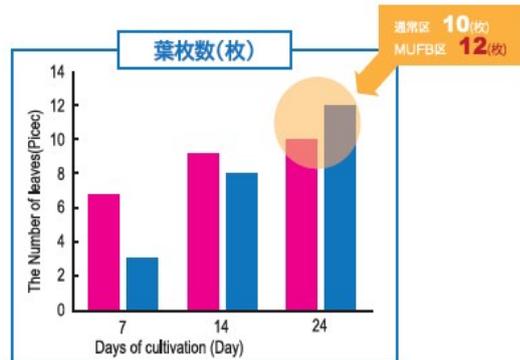
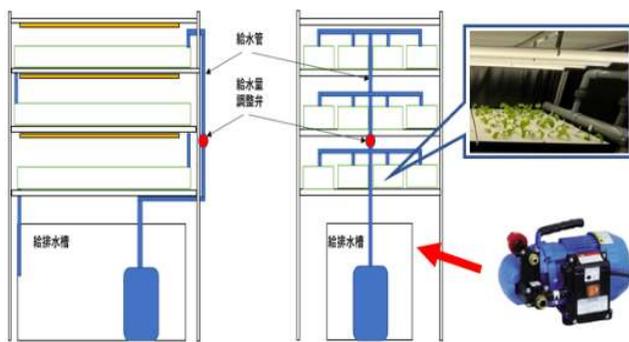


テーマ：ウルトラファインバブルによる液体肥料使用量の削減



【 社会的な課題 】

農業において、肥料は作物の種類によらず成長のための養分として必要不可欠な物であるが、肥料の価格は年々高騰してきておりランニングコストの増加が多く生産者を悩ませている。

【 取組み内容 】

液体肥料中にウルトラファインバブルを発生させ作物に与えることで、従来よりも効率よく養分を吸収できることを確認した。小松菜を用いた試験では基準となる液肥濃度よりも20%低くした場合においてもウルトラファインバブル化することで従来と同等の成長結果を得ることができ、導入いただいた農家でも同様の効果が確認されている。

【 ファインバブルの作用・原理 】

ウルトラファインバブルは帯電していることから様々な物を引き付けやすい性質を有しており、作物の根に付着したバブルに液肥中の養分が引き寄せられることで根からの吸収が従来よりも効率よく行われた。

【 使用機器 】

ウルトラファインバブル発生機UP400M。  
モータ駆動のウルトラファインバブル発生ポンプ。従来の農業用ポンプをベースにした発生器として使い勝手はそのままにウルトラファインバブルの効果を得ることができる。

【 各種効果 】

20%の減肥効果

■液体肥料使用量20%削減による肥料コストの削減。